

▶会社の概要や特徴

1938年に大分県豊後高田市香々地にて創業、戦後地域の港湾、河川改修、隧道工事など多くを手掛け「海の菅組」と呼ばれることもありましたが、時のニーズに伴い建築部門を拡充、創業当時のモットーである「信用と技術を大切に」を軸として、総合建設業としての役割を担っています。

▶取り組んだ理由きっかけ

国の働き方改革により、近い将来完全週休2日になるのではと考え、早期に会社として体制づくり「平日5日で仕事を終わらせるという社員の意識改革」と労働環境の改善を目的として検討していました。公共工事を対象とした週休2日の施行工事が始まったことも切っ掛けとなりました。また、新卒者の雇用条件として週休2日を求める声が多かったこともあり、完全週休2日を決断しました。創業の信念として、「従業員はみな家族」という言葉があります。今後とも社員全員が働きやすい会社づくりに取り組んでまいります。

▶実現による効果など

- ・以前は隔週での休日となっており、1日しか休みのない週明けは鬱陶気的にも暗くリフレッシュできていない感じがありましたが、取り組み後は、皆さん良い意味で休日疲れの中にもリフレッシュされた顔が見えるようになりました。
- ・社員が平日5日で仕事を終わらせるという意識が芽生え、仕事の生産性を考えるようになりました。その結果、今までの仕事内容を根本的に見直し、社員同士が効率の良い方法を模索し合い、ITの導入などが進みました。
- ・会社が完全週休2日になったことで国土交通省や九州農政局等の施行工事にスムーズに対応できました。また、工事で週休2日での施工管理をすることで工事成績の向上につながりました。
- ・**自社ホームページやSNSによる情報発信、就職ガイダンス時のPR動画を作成し**、新卒者や中途採用の応募が増えました。

▶4週8休実現へのプロセス

国による働き方改革を踏まえ、社員の労働環境改善、新卒採用、中途採用の雇用条件の見直しや制度導入前と後の社内格差などを中心に様々な検討を重ねてきました。

▶実現に向けた様々な課題とその克服方法

まずは日給月給制の現場作業員の所得減少という課題がありましたので、月給制に変更しました。また、週休2日での作業となるため下請け業者への単価の見直しを行いました。今後の課題としては、①公共工事では余裕工期制度がありますが、災害復旧工事や河川の渇水期施工では、施工可能期間が限定され週休2日での工程が困難である場合があるため、今後検討が必要であると思います。②土木の社員は、公共工事の比率が多く、予め週休2日での工程で工事を行っているが、建築の場合、民間工事が多く休日出勤が多くなり、同年代での給料格差が発生しています。そのため、建築民間工事をどのようにすれば週休2日で行えるか検討していく必要があると考えています。

▶独自の取組や工夫されてる点

現場では、交互に休みの取れる人員配置を行っています。ICT技術による施工期間の短縮や現場管理の効率を上げるためノンプリズムトータルステーションや管理ソフトを導入、書類のやり取りをクラウドを利用し、書類の決裁を電子決裁にて行っています。さらに、休暇の管理情報を全部署に開示し、各社員が均等に休暇取得できるように努めています。